

地域づくりの方向 8

伝統・文化と新たな息吹きが融合する 魅力を世界に向けて発信するまち

地域づくりの方向の概要

- 豊島区が誇る文化芸術を世界に通用するアート・カルチャーと位置づけ、多様性のある、まち全体が舞台となり、誰もが主役となれるまち「国際アート・カルチャー都市」を目指します。
- 地域の歴史や伝統文化を再発見し、守り伝えるとともに、新しい文化の創造に努めるとともに区民が主体的に行う文化活動を支援します。
- 文化や芸術の息づく、生涯にわたって学び続けられる環境づくりを進めます。
- 豊島区の国際アート・カルチャー都市としての魅力を広く国内外に発信するとともに友好都市とも交流を図ることで世界中から人が訪れ、楽しむことができる都市を作ります。

【政策】

8-1 アート・カルチャーによるまちづくりの推進

8-2 生涯学習・生涯スポーツの推進

⑧

伝統・文化と新たな息吹きが融合する 魅力を世界に向けて発信するまち

8-1 アート・カルチャーによるまちづくりの推進

8-1-1 多様な文化芸術の創造と創造環境の整備

8-1-2 地域文化・伝統文化の継承と発展

8-1-3 交流の推進による賑わいと発展の共有

8-1-4 アート・カルチャーによる魅力の発信

8-2 生涯学習・生涯スポーツの推進

8-2-1 多様な学習活動への支援

8-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

8-2-3 学びを通じた仲間づくり・地域づくり

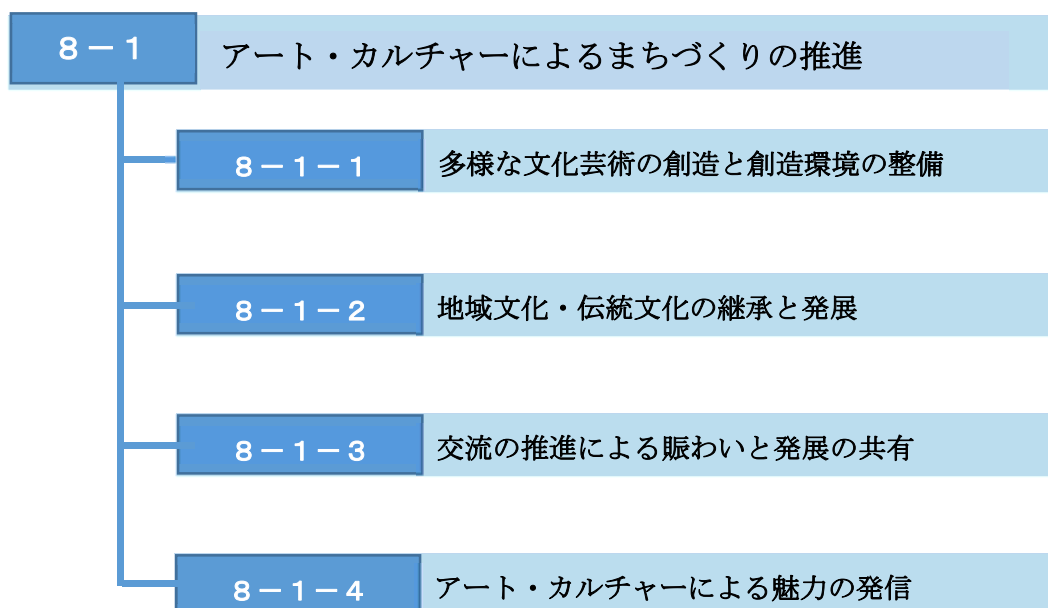
政策 8 - 1

アート・カルチャーによるまちづくりの推進

政策の概要

- 伝統から最先端、ハイカルチャーからサブカルチャーまで、文化芸術の多様性を豊島区独自の文化資源として活かし、継承します。
- 誰もが安全・安心に文化を享受し、文化を支える人材を生み出すまちづくりを推進します。
- 豊島区の文化芸術の多様な魅力を世界に向けて発信し、国内外の都市とも交流を図るなど、世界中の人々が集い、持続発展する「国際アート・カルチャー都市」の実現を目指します。

政策と施策の構成



政策8-1 アート・カルチャーによるまちづくりの推進

施策8-1-1 多様な文化芸術の創造と創造環境の整備

【施策の目標】

- 質の高い文化芸術活動を地域等と連携しながら展開し、豊島区の文化芸術の全体的な質の向上と活性化を図ります。
- 新たに整備する文化施設を中心に既存の施設を多様な文化芸術活動の拠点として有効に活用するための取り組みを積極的に図り、区民が良質な文化芸術に接する機会を増加させます。
- 大学やNPO、企業等と連携を図りながら地域における文化芸術活動を牽引、支援するとともに文化の創造・推進を担う人材を育成します。

【現状と課題】

- **(現状)** 豊島区には多くの文化関連施設・産業が集積しており、区民や来街者の文化芸術活動を誘引するとともに、地域の団体や企業、NPO等による特色のある文化芸術活動がさまざまな形で展開されています。
- **(課題)** 多様な主体による活動をさらに充実させるためには、新たな文化の創出に向けた創造環境づくりが何よりも重要です。
- **(課題)** 伝統文化から最新の表現方法までジャンルを超えた文化の融合と発信が求められています。
- **(課題)** 既存の文化資源を有効に活用し、文化に触れる機会を増やすとともに都市の魅力をいかにして高めていくことが必要となっています。
- **(課題)** 幅広い文化芸術活動をより一層活発・充実化していくためには、文化を支え、発展させる人材の育成が、今後さらに必要となっています。

◆区内ホール等の状況（平成27年1月1日現在）

◆にしすがも創造舎文化芸術創造活動件数

公営施設	施設名	客席数
東京芸術劇場	コンサートホール	1,999
	プレイハウス	834
	シアターイースト	272~324 ※
	シアターウエスト	195~270 ※
豊島公会堂		802
豊島区民センター	文化ホール	214
南大塚ホール		267
あうるすぽっと		301
	計	4,884~5,011

※可変式客席

民営施設	施設名	客席数
アートスペースサンライズホール		112
	薫スタジオ	80~150 ※
池袋演芸場		92
		167
シアターグリーン	BIG TREE THEATER	104
	BOX in BOX THEATER	70
サンシャイン劇場		816
北池袋新生館シアター		50~70 ※
てあとらぽう		85
	計	1,576~1,868

※可変式客席

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
稽古場利用件数	48	46	43	129	163
にしすがも創造舎内で実施のワークショップ開催回数	96	115	65	59	77
としがもアート夏まつり公演回数	12	12	7	9	10
にしすがも創造舎内で実施のフェスティバル/トーキョー公演回数	19	25	18	20	20
合計	175	198	133	217	270

主な取組内容

区民が文化芸術に接する機会の拡充や、文化芸術創造拠点としての施設整備、多様な主体による文化芸術活動への支援を通じて、豊島区ならではの文化芸術を創造していきます。

〔取組内容〕

○文化芸術に接する機会の拡充

文化芸術活動団体や文化人、アーティスト等との連携により、様々なライフステージに向けた取り組みを実施し、区民が身近に文化芸術に接する機会の拡充を図ります。

○演劇のまち池袋のイメージ拡大

演劇のまち池袋の発展のために若手の育成は不可欠であり、池袋演劇祭の担う役割は大きいといえます。演劇祭に出たいと考える若手を増やすためにも演劇祭を盛り上げ、入場者数の増加につながる情報発信に取り組みます。

○国際アート・カルチャー都市の拠点としてのホールの整備と文化の発信

新たに庁舎跡地に整備される予定の（仮称）豊島区新ホールを中心に既存の施設を文化芸術創造の拠点としてより有効に活用するための取り組みを積極的に図り、東京芸術劇場や民間の劇場、映画館等との連携を進めながら、多様な文化芸術活動を展開できる、まちへ発展させていきます。

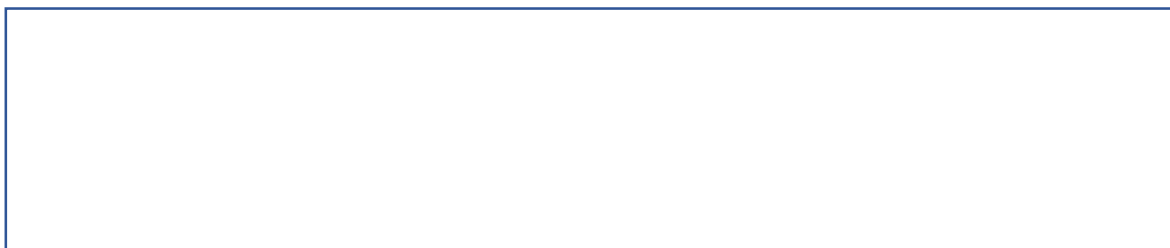
○文化創造環境の充実

廃校施設の暫定活用についても、拠点の一時移転に伴う事業規模の縮小など課題はあるものの、引き続き質の高い文化芸術にふれる機会の提供に取り組みます。

○あらゆる主体による文化創造を可能とする人材の育成

区民の自主的な文化芸術活動が活発に展開できるよう支援します。地域団体、大学やNPO、企業等とも連携を図りながら、地域活動の活性化を通じて、文化の創造・推進を担う人材を育てます。

施策の達成度をはかる指標



政策 8-1 アート・カルチャーによるまちづくりの推進

施策 8-1-2 地域文化・伝統文化の継承と発展

【施策の目標】

- 区内に存在する芸術作品や文化芸術活動、文化財や郷土資料など様々な文化資源の魅力をわかりやすく伝える工夫を行いながら、地域文化・伝統芸能を継承し、未来に向けて普及発展させていきます。

【現状と課題】

- **(現状)** 江戸時代の豊島区地域は、江戸の近郊農村として発展し、明治時代以降、鉄道の敷設や道路整備とともに急激に都市化が進み、商工業地域と住宅地域とが混在する地域に大きく変貌を遂げました。
- **(現状)** こうした歴史的経緯を持つ豊島区には、自由学園明日館、雑司ヶ谷鬼子母神堂、雑司が谷旧宣教師館、金剛院山門、長崎獅子舞、富士元囃子などに加え、(仮称)鈴木信太郎記念館等貴重な有形無形の文化遺産があります。また、「長崎アトリエ村」や、大都映画撮影所跡、江戸川乱歩旧宅、「トキワ荘」跡など、それぞれの時代を創ってきた多様な文化的事跡や旧跡が存在しています。
- **(課題)** 豊島区は居住者の転出入等に伴う人の流動性が高く、ファミリー世帯に比較して、単身世帯の割合が多いことなどから、地域の伝統の継承が難しく、地域の歴史や伝統文化について、十分に知られていない状況があります。
- **(課題)** 地域固有の文化資源の保存・継承するとともに、発信を行う拠点の整備が必要となっています。

◆熊谷守一美術館利用実績

	23年度	24年度	25年度	26年度
観覧者数 (有料展示室入館者)	5,657	5,055	5,808	8,258
施設入館者数 (ギャラリー観覧者含む)	—	9,393	9,393	11,695
周年特別展観覧者数	1,886	1,093	2,388	3,633
企画展開催回数	8	7	7	7

◆郷土資料館利用実績

	23年度	24年度	25年度	26年度
入館者数(人)	16,483	17,006	10,571	12,158
企画展入館者数 (人)	0	0	0	0
収蔵資料展入館者 数(人)	16,483	17,006	0	10,968

◆新池袋モンパルナス

西口まちかど回遊美術館開催実績

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
会場数		45	43	45	60
参加団体等	37	42	40	42	42

主な取組内容

地域固有の文化資源について、保存・継承していくため、区民が文化に触れ合う機会の拡充や、学校との連携による取り組みを行うとともに、区の内外に広く発信していきます。

〔取組内容〕

○地域との連携による表現活動の活性化による地域のにぎわいの拡大

豊島区固有の文化資源の積極的な活用を図るとともに、新たな表現活動及び交流の場として発展させながら、街のにぎわいにつなげていきます。

○文化鑑賞機会の拡充

区の歴史、文化資源をわかりやすく紹介する場や、区収蔵作品や資料等を身近に鑑賞できる機会の充実を図ります。普及啓発の拠点として、郷土資料、美術、文学・マンガの3分野で構成するミュージアムの整備を急ぎ、守一美術館、庁舎まるごとミュージアムさらには民間施設との連携を推進します。

○伝統文化の継承と発展

雑司が谷や巣鴨など昔からの風情や人間関係の残る街並みを大切にし、未来の子どもたちにこのまちの歴史と文化が受け継がれていくように支援します。

○教育現場との連携の強化

学校と連携し、文化財を利用した学習支援の充実を図っていきます。

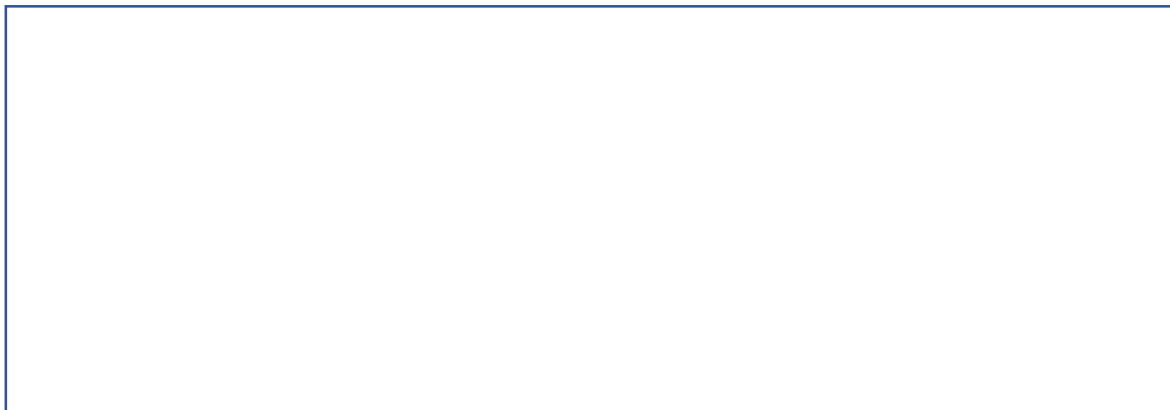


雑司が谷旧宣教師館 コンサート



新池袋モンパルナスまちかど回遊美術館 児童作品展示

施策の達成度をはかる指標



政策 8-1 アート・カルチャーによるまちづくりの推進

施策 8-1-3 交流の推進による賑わいと発展の共有

【施策の目標】

- 鉄道事業者や様々な交通ネットワーク、周辺自治体と様々な事業で連携し、まちの賑わいをつくっていきます。
- 地方都市との交流を推進し、文化・観光を始めとした取組みを実践します。
- 国際アート・カルチャー都市として、在住・訪日外国人にも魅力的な賑わいを創出していきます。

【現状と課題】

- **(現状)** 豊島区は、23 区の北西部に位置し、埼玉県や周辺自治体との玄関口となっています。
- **(現状)** 乗降客数第 2 位の池袋を中心に、各方面を結ぶ 5 社 13 路線の鉄道が乗り入れ、池袋駅における 1 日乗降客数は約 258 万人にのぼります。
- **(課題)** 東武東上線、西武線沿線を代表に、国内交流都市は 50 自治体を越え、沿線自治体 PR や物産交流など、多方面の交流を行っているものの、区民による訪問や市民同士の交流等、相互の住民が交流を意識できる取組みが課題です。
- **(課題)** 外国籍の区民増加、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた外国人旅行者の増加を受け、外国語対応や文化体験等、新たなニーズがうまれてきており、外国人のニーズを把握し、滞在しやすい環境づくりを早急に行う必要があります。

◆姉妹都市

・埼玉県秩父市

◆友好都市

・大韓民国ソウル特別市
東大門区
・山形県遊佐町

交流都市

◆文化交流都市

・相互交流宣言都市

・三重県名張市・宮城県
・栃木県那珂川町・埼玉県飯能市
・青森県十和田市・長野県小諸市
・長野県箕輪町・秋田県能代市
・埼玉県川越市・埼玉県東松山市
・埼玉県寄居町・神奈川県湯河原町

◆観光物産交流都市

・北海道夕張市・岩手県一関市
・宮城県石巻市・宮城県大崎市
・山形県村山市・福島県いわき市
・福島県南相馬市・福島県伊達市
・福島県猪苗代町・茨城県常陸大宮市
・栃木県宇都宮市・栃木県那須烏山市
・群馬県神流町・群馬県みなかみ町
・埼玉県川越市・埼玉県東松山市
・東京都八丈町・新潟県魚沼市
・新潟県湯沢町・新潟県津南町
・富山県富山市・長野県小海町
・長野県立科町・静岡県浜松市
・岐阜県関市・愛媛県内子町
・大分県杵築市

◆防災協定都市

・山形県遊佐町・埼玉県秩父市
・福島県猪苗代町・埼玉県三芳町
・岩手県一関市・岐阜県関市
・群馬県神流町・新潟県魚沼市
・長野県箕輪町・茨城県常陸大宮市
・栃木県那須烏山市・山形県村山市
・秋田県能代市・愛媛県内子町

主な取組内容

埼玉県や23区西部の玄関口としての特性を活かし、物産交流や住民交流など地方都市との交流を多方面から進めていきます。また、外国人住民や観光客が快適に過ごせるような環境づくりを推進します。

〔取組内容〕

○ゲートウェイシティとしての賑わい活用

都市間、住民同士の交流を促進させ、まちの活性化に寄与するため、JR や東京メトロ、西武池袋線、東武東上線等、交通網で繋がる周辺自治体や鉄道会社との連携を強化します。

○交流都市との共同事業の展開

相互の地域経済の活性化を図るため、各地の観光案内や名産品販売等を中心に、様々な共同事業を行います。また、体験事業や文化的事業等により、住民の交流機会も増やしていきます。

○インバウンドの推進

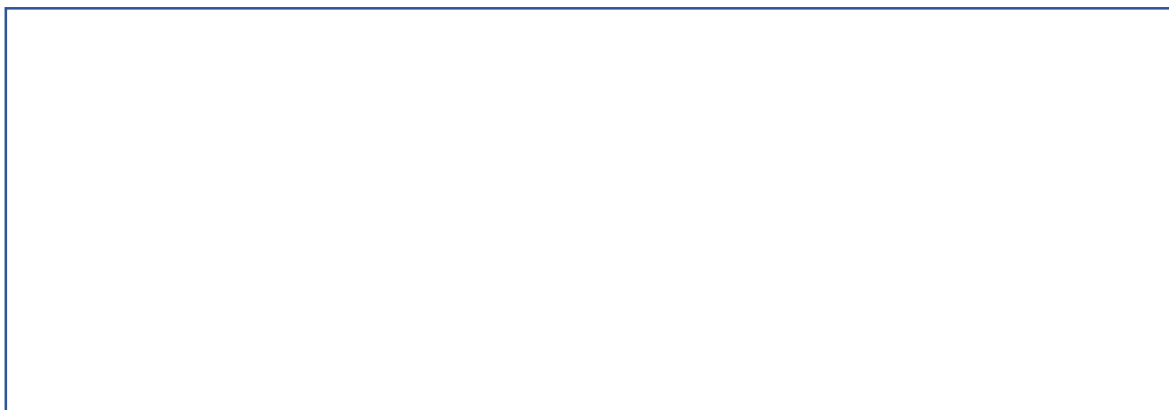
観光団体や民間企業と連携し、外国語版ガイドブックの発行や、外国人向け飲食メニューの充実、観光案内標識の整備など、外国人住民や観光客のニーズに即した対応を推進していきます。

○文化体験の推進

外国人、日本人双方への異文化体験や交流機会を提供するために、留学生等が区民宅へ訪問するホームビジット事業等の実施や、在住、訪日外国人来街者への積極的なイベント参加呼びかけを実施します。



施策の達成度をはかる指標



政策 8-1 アート・カルチャーによるまちづくりの推進

施策 8-1-4 アート・カルチャーによる魅力の発信

【施策の目標】

- 文化を媒体として、世界に豊島区の魅力をアピールし、バーチャルだけでなくリアルに世界とつながり、新たな文化潮流を常に発信し続ける魅力と活力にあふれた都市像を発信していきます。
- マンガの創成期から最先端のマンガ・アニメまで世代を超えたマンガ文化が融合するまち、池袋演劇祭、フェスティバルトーキョーなど舞台芸術のまちの魅力を世界に向けて発信します。

【現状と課題】

- **(現状)** 豊島区では、地域の団体や企業、NPO等による特色のある文化芸術活動がさまざまな形で展開されています。
- **(課題)** それぞれの活動が個別の地域や領域の中にとどまりがちのため、相互の「文化資源の連携」を図り、豊島区全体（オールとしま）としてアピールすることが重要です。
- **(現状)** 豊島区の顔である池袋駅の周辺では、歩行者がゆったり歩いたり、イベントを開催するスペースが不足しています。
- **(課題)** オリンピック・パラリンピックを開催する国際都市として、無料Wi-Fi、多言語対応の案内板などの基盤整備を急ぐ必要があります。さらに空間整備を進め、「人と環境にやさしく、文化を軸とした活力あふれる都市：国際アート・カルチャー都市」へ進展することが求められています。
- **(課題)** 東京の中で大きな存在感を発揮する都市として、豊島区の魅力を豊島区全体で積極的に、世界に向けて発信力を強化する必要があります。

◆池袋演劇祭実績

◎参加劇場数/参加劇団数/観客数
 (H22) 21劇場/50劇団/28,546人
 (H23) 16劇場/47劇団/22,392人
 (H24) 19劇場/54劇団/26,921人
 (H25) 19劇場/57劇団/38,716人
 (H26) 19劇場/48劇団/30,381人

◆フェスティバルトーキョー実績

	23年度	24年度	25年度	26年度
メディア掲載記事件数	316	257	325	327
作品数	27	32	31	36
公演数	241	172	240	290
入場者数	34,024	41,247	98,785	58,609

主な取組内容

国際アート・カルチャー都市として、文化芸術はもとより、豊島区らしさを大切にしながら、まちづくりや産業、観光、教育、子ども施策等と連動した総合的な文化政策を推進し、誰もが主役となれる劇場都市を実現し、その魅力を発信していきます。

〔取組内容〕

○国際アート・カルチャー都市の拠点の形成

新庁舎移転後の庁舎跡地の活用を契機とし、「(仮称) 豊島区新ホール」や区民センター、中池袋公園および周辺道路を整備し、国際アート・カルチャー都市にふさわしい文化にぎわい拠点の形成を目指します。

○東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムの展開による魅力発信

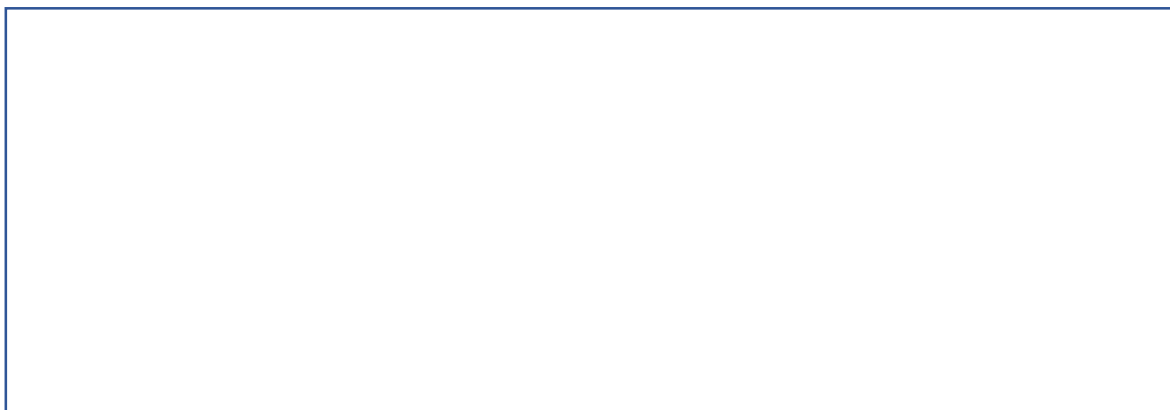
東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、その文化プログラムに積極的に参加するとともにオリンピック後を見据え、豊島区が誇る伝統文化やマンガ・アニメ等の文化資源を世界に発信し、持続発展する「国際アート・カルチャー都市」を目指します。

○演劇のまちとしての魅力発信

まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市として、フェスティバル／トーキョーなどの国際演劇祭や地域密着型の演劇祭である池袋演劇祭の充実を図るとともに新たな文化を創造・発信し、多様な文化の出会い・融合を推進します。



施策の達成度をはかる指標



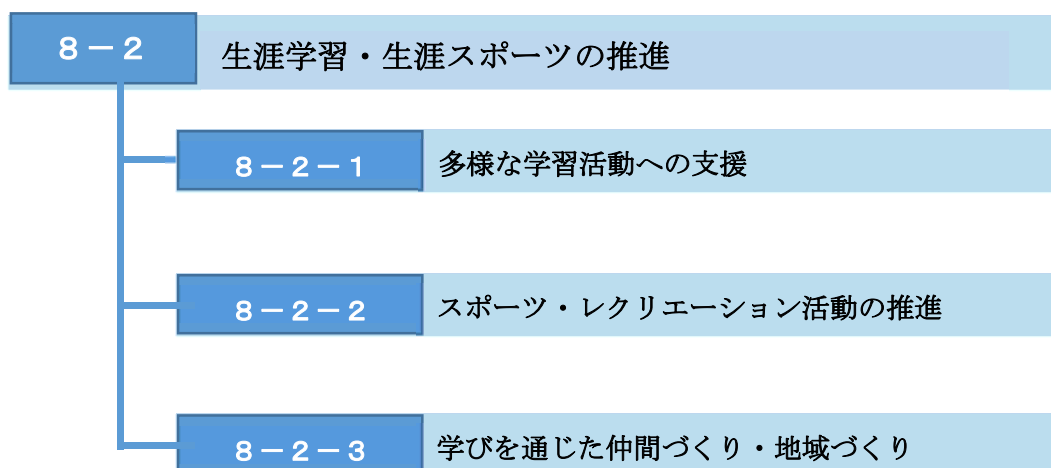
政策8-2

生涯学習・生涯スポーツの推進

政策の概要

- 人々がさまざまな学習資源を生かし、生涯にわたっていつでも学習機会を選択して学ぶことができる環境づくりをすすめます。
- 生涯を通して、だれでも、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる機会を提供します。
- 学びや活動の成果を地域に還元し、地域を担う人づくりや地域コミュニティの活性化を図るシステムの構築をめざします。

政策と施策の構成



政策8-2 生涯学習・生涯スポーツの推進

施策8-2-1 多様な学習活動への支援

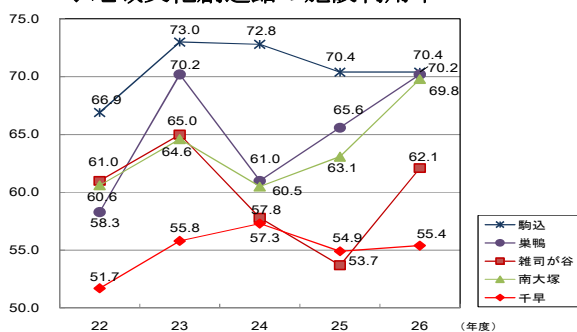
【施策の目標】

- 図書館や地域文化創造館など、多様な学習ニーズに対応した身近な生涯学習の場づくりをすすめます。
- 区民がともに学びあい、地域文化を創造・発信する拠点を整備します。
- 区民が求める生涯学習に関する情報を提供します。

【現状と課題】

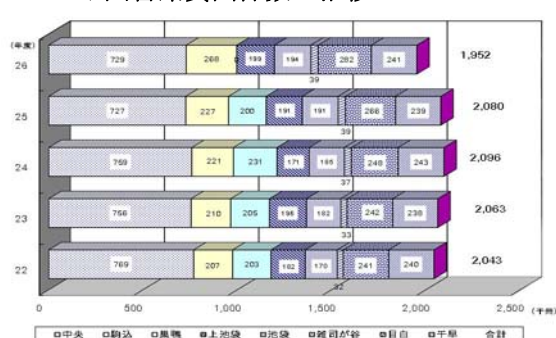
- **(現状)** 豊島区は、多様化する生涯学習ニーズに対応するとともに、文化政策分野で果たすべき生涯学習の役割を明確化するため、平成22年10月に「豊島区生涯学習推進計画」を策定し、この計画に基づき、様々な生涯学習施策を進めてきました。
- **(現状)** 平成21年度には、子どもたちが豊かな人生をおくるための環境を整える一環として「豊島区子ども読書活動推進計画（第二次）」を策定し、読書推進施策を進めてきました。
- **(課題)** その成果等を踏まえ、第三次計画では、パソコンやスマートフォンの利用時間増加につれて進む読書離れ等の新たな課題への対応についても検討しています。
- **(現状)** 平成27年度現在、地域文化創造館5館と中央図書館、地域図書館6館、図書貸出コーナー1か所があり、また、旧大明小学校においては、地域住民で構成されるNPO法人の自主管理により生涯学習施設が運営されています。それらの施設において、区民の様々な学習ニーズに対応したサービスを提供しています。
- **(課題)** 従来からの生涯学習の場と機会の提供に加え、地域文化の創造と情報発信の拠点としての役割を担うべく、さらなる機能強化が求められています。

◆地域文化創造館の施設利用率



出典：公益財団法人としま未来文化財団平成26年度事業報告書

◆図書館貸出件数の推移



出典：豊島の図書館《2014》

主な取組内容

多様な生涯学習ニーズに対応したプログラムについて、区内の関係団体と協働により提供していくとともに、身近な学びと情報発信の場として地域文化創造館を整備します。また、区立図書館の機能の充実を図り、区民の学習活動を支援します。

〔取組内容〕

○生涯学習の環境整備

年齢や性別に関係なく生涯学習を行うことができる「場」を整備します。多様な学習ニーズに対応するため、区内の大学、専修学校、企業、NPO等とも連携・協働し、様々なプログラムを提供します。

○情報センターとしての図書館の機能充実

教養修得、調査研究、レクリエーションの情報収集等に資する図書資料を収集するとともに、区全体及び東京都に関する地域資料を備えた豊島区の基幹的な情報センターとして中央図書館を、また、各地域の特色ある資料を充実した身近な情報センターとして地域図書館を整備し、利便性の高い区民の教育や学習の場づくりを進めます。

○点字図書館の充実による障害者サービスの向上

視覚障害者用の図書（点訳図書・音訳図書・拡大写本）の整備、ボランティアの養成・活用を進め、視覚障害者の図書館利用の機会を充実します。

(写真など)

(写真など)

施策の達成度をはかる指標

政策 8-2 生涯学習・生涯スポーツの推進

施策 8-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

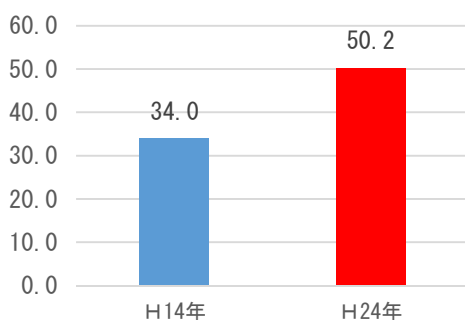
【施策の目標】

- スポーツ施設の改修や整備を進め、生涯を通してスポーツに親しめる環境を充実させます。
- 区内の関係団体と連携し、各種スポーツ大会や次代を担うジュニア育成、シニアの健康づくりにつながる講座や教室等を開催し、地域における区民のスポーツ・レクリエーション活動を支援します。

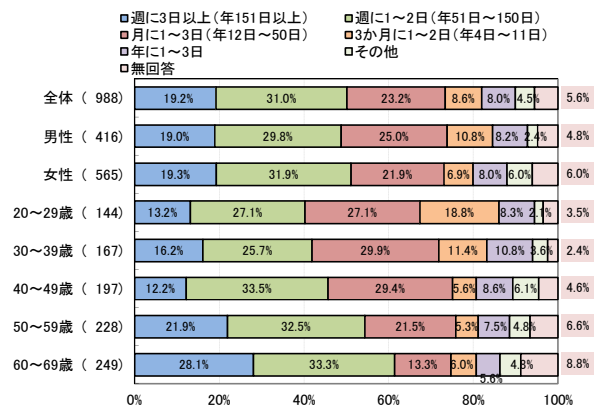
【現状と課題】

- **(現状)** 高齢化社会への進展などとともに健康づくりへの関心が高まり、スポーツ・レクリエーション活動の需要が増大しています。区では、そうしたニーズに対応するべく、平成 17 年 3 月策定の「豊島区スポーツ振興計画」に基づき、様々なスポーツ施策を進めてきました。
- **(現状)** その結果、区民のスポーツ実施率は着実に向上しています。また、平成 27 年 10 月には、この計画を改定し「豊島区スポーツ推進計画」を策定し、さらなる生涯スポーツ・レクリエーション活動の充実に取り組んでいます。
- **(課題)** 一方で、子どもの体力低下や 20～30 歳代の若い年齢層のスポーツ実施率が低いことなどが課題となっています。
- **(課題)** さらに健康づくりや介護予防の観点から高齢者のスポーツへの参加機会の充実を図ることが求められています。

◆運動・スポーツを行う頻度



◆運動・スポーツを行う頻度（年代別）



出典：スポーツに関する意識調査報告書（平成 24 年 3 月）

主な取組内容

これまでのスポーツ推進施策の成果と課題や、本区におけるスポーツの実態、ニーズ等を踏まえ、区民のスポーツ・レクリエーション活動の一層の推進を図ります。

〔取組内容〕

○誰もが取組めるスポーツの推進

年代や生活スタイルなどによりスポーツに対して期待すること（健康体力づくり、競技力の向上など）や課題は様々なことから、ニーズを的確に把握し、それに応じたスポーツ活動を推進し、区民が生涯を通じてスポーツを楽しむことができる環境を整えます。

○スポーツ指導者の育成・確保

区民がそれぞれ目的を持って、安全で楽しく、継続的にスポーツを行うためには、安全面、技術面などの知識を十分に備え、スポーツの楽しさを伝えることができる指導者の果たす役割が重要なことから、研修会や講演会などを通して、スポーツ指導者の育成・充実を図ります。

○区立スポーツ施設の充実

生涯スポーツの推進、健康増進、競技力の向上等を目指し、多様なスポーツプログラムを提供するとともに、快適なスポーツ環境を提供します。指定管理者制度により民間事業者が有するノウハウを活用して、区民サービスの向上を図ります。

(写真など)

(写真など)

施策の達成度をはかる指標

政策 8-2 生涯学習・生涯スポーツの推進

施策 8-2-3 学びを通じた仲間づくり・地域づくり

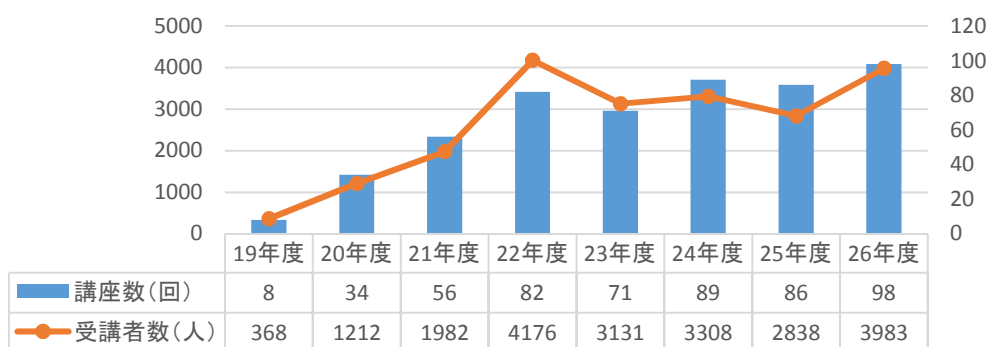
【施策の目標】

- 学習が個人のレベルで完結することなく、学習過程や活動成果を地域に還元し、自ら社会参画しながら学びあう仕組みづくりやネットワークの構築に努めます。
- 地域の文化・スポーツ活動の担い手である区民の主体性を尊重しつつ、活動の意欲向上や交流を支えることを通じ、地域コミュニティの活性化を推進します。

【現状と課題】

- **（現状）** 教育基本法では、国民一人ひとりの主体的な「学び」を支援するとともに、各個人の「学びの成果」を地域社会に還元していく仕組みづくりが生涯学習行政の中核的な役割として位置付けられています。また、平成 22 年 10 月策定の「豊島区生涯学習推進計画」では、人びとが生涯にわたり自由に学び続けられる環境を整備し、さらに学習成果を地域に還元し、地域コミュニティの活性化へとつなげていく「区民が主体の『学びの循環』をつくる」ことを目標としています。
- **（現状）** 区内 6 大学との連携による「としまコミュニティ大学事業」では、「人づくり」「活動づくり」「地域づくり」を基本コンセプトとした講座を開講しており、地域を変えていくリーダーの育成をめざしています。
- **（課題）** この事業をはじめとする生涯学習や生涯スポーツの活動成果を仲間づくりや地域づくりにつなげていく仕組みづくりが求められています。
- **（課題）** また、学習や活動が個人レベルで完結することなく、自ら社会参画しながら学びあう「ネットワーク化」の促進も課題となっています。

◆としまコミュニティ大学講座数と受講者数の推移



出典：学習・スポーツ課作成資料

主な取組内容

学びの成果を地域に還元するため、グループ・サークル等のネットワーク化を促進します。また、学習プログラムの企画段階からの参加を促すことで、学びの循環をつくり、地域コミュニティの活性化を図ります。

〔取組内容〕

○学習活動の組織化支援

個々人の学習活動をさらに継続・深化させていくため、グループ・サークル等の組織化を支援し、活動の成果を地域づくりにつなげていきます。

○学習プログラムの企画運営への参加推進

生涯学習や生涯スポーツの実践者として、プログラムの企画段階から区民の参加を働きかけ、活動の自主・自律的な展開を促進します。

○学習活動のネットワーク化の促進

グループやサークル間の情報交換や交流機会を提供し、相互の活動を理解しあうことを通じて、活動の活性化や活動間の連携を促進し、学びの環を広げていきます。

○ボランティアの養成と活動支援

本の読み聞かせボランティア、エリアガイドボランティア、スポーツボランティア等の養成講座を開催し、ボランティアの資質向上を図るとともに、その活動を支援します。

(写真など)

(写真など)

施策の達成度をはかる指標